

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

巻頭言 勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

<活かす通信最終号> 『日本の守り本尊の交代』

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

読者の皆様、5年半続けてきましたこのメルマガは今回を持ちまして最終号とさせていただきます。長い間ご高覧賜り有難うございました。

最後にメルマガで中心に取り上げたインド経済の魅力をまとめます。

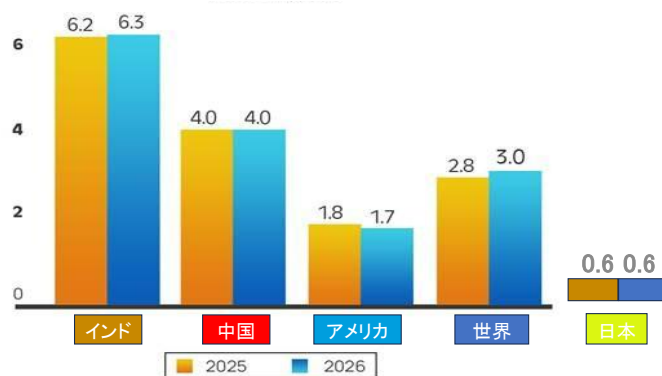
1. インドの経済は、長期の高度成長が可能な唯一の大きな経済である。
2. 最大の成長エンジンは都市化である。徳川家康の江戸、鄧小平の深センのようにナレンドラ・モディのムンバイはインドの都市化を先導する。
3. バラバラだったインドは繋がり始め、繋がっていたアメリカはバラバラになり始めている。世界経済の中心は、グローバルサウスに回帰している。
4. インドの経済は、独立 100 周年の 2047 年頃には GDP で中国とアメリカ経済に接近し黄金時代を迎える。

このように私はインド経済に強気です。一方、日本経済については、人口減少、自然災害、感染症、弱い政権基盤、地政学リスクなどの不安材料が山積みで楽観的にはなれません。長期で下のグラフのような成長になるでしょう。

不安が一杯な日本は奈良時代にもありました。大地震、疫病の流行、飢饉、政権争い、遷都などが連続した時代です。聖武天皇は、その蔓延する不安を仏教の力で取り除き、国民を幸せにするために大仏造立の詔を発しました。そして、その開眼供養の導師としてインド出身の僧侶（菩提僊那）が来日しました。

## 世界経済の成長率予測(2025-2026年)

IMF2025年4月(%)



19

これからの日本は経済も個人の金融資産も、インド経済の力で不安を和らげ光明が見出せるかも知れません。日本の守り本尊は、陰りが見える自由の女神の国から、光明を差す仏教が生まれた国へ戻っていくと信じています。

メルマガ読者の皆様、長い間有難うございました。